

超高齢社会で輝くひとに！

## 暮らしを支える 介護の仕事

「介護」は今、私たちの暮らしと切り離せないテーマになっています。

水戸市の65歳以上の高齢者人口の割合（高齢化率）は26.1%（2017年）。4人に1人が高齢者となっており、高齢者単身の世帯や、高齢者のみの夫婦の世帯も増えています。

市内の介護を必要とする人（要支援・要介護認定者）の数も年々増加（下表1）。

その本人が単身か夫婦のみの世帯は、介護を必要とする人がいる世帯のうちの約半数に上ります（下表2）。

### 誰にとっても身近な介護の仕事

このような状況を支える介護の仕事は、今後さらに身近な存在になっていきます。介護の仕事には、高齢者の皆さんのが利用する施設や自宅などで食事、着替え、車いすでの移動、入浴、トイレなどの手伝いをすることや、散歩、買い物、レクリエーションなどの補助があります。日常生活のさまざまな面でサポートを行うほか、本人や家族にアドバイスを行ったり、相談にのつたりします。

介護の仕事は、人の体も心も支える、大切な仕事です。

## 特集 笑顔と元気を届けます！

11月11日は「介護の日」。今回の特集では、介護の現場で働く方々を紹介します。

「体力的にきつそう」「労働時間が長い」などのマイナスイメージがあると言われている介護の仕事。実際に現場で働く皆さんが話してくれたのは、大変さや苦労だけではなく、その中で見つけたやりがいや楽しさなど、前向きで元気な言葉と、介護の仕事への深い思いでした。

問合せ  
介護保険課（☎232-9177）

## interview——介護の仕事をしている人に聞いてみました 介護の仕事に向き合う私の"スタイル"

働く場所や経験年数などが異なる3人の方に、仕事の内容や、仕事に向き合ううえで大切にしている思いを聞きました。

※二次元バーコードから、各インタビューの内容をまとめた動画を見ることができます（水戸市公式YouTube）。

認知症の高齢者が少人数で暮らすグループホームで働く、綿引あざさん。食事・入浴の介助、散歩、買い物など、利用者の皆さん的生活をサポートしています。

「ありがとうございます」と綿引さんがいてくれて良かつた」という一言に、「介護の仕事をしていく良かった」と心から思う」と話す綿引さん。綿引さんの笑顔に誘われて、皆さんとも自然と笑顔が浮かびます。食事の下ごしらえや洗濯物を畳むことができる大切な時間です。綿引さんは「人と向き合う仕事の難しさ、と感じる場面も度々あります」と話します。その

綿引さんは「人と向き合う仕事

なので、難しい、と感じる場面も度々あります」と話します。その

綿引さんは「人と向き合う仕事

